



令和7年度 三春町立中郷小学校経営ビジョン



【教育目標】心豊かで自立的精神に満ち、未来を生きる「輝く子ども」の育成

- 1 学習指導要領
- 2 第7次福島県総合教育計画
～個人と社会のWell-being
(一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せ)の実現～
- 【育成したい人間像】
急激な社会の変化の中で、自分の人生を切り拓くたくましさをもち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人
①「福島らしさ」を生かした多様性を力に変える教育
②福島で学び、福島に誇りをもつことができる「福島を生きる」教育
3 三春町第2期教育大綱（R7.4～）
4 「三春の教育」子どもの夢と教師の夢が共に育つ学校づくり

【児童の学校評価アンケートなどから】

- 学校や学校行事が楽しい
- 先生方は意見や考えをよく聞いてくれる
- 先生方は困っているとき相談に乗ってくれる

【保護者の願い（学校評価アンケートから）】

- 楽しく学校に行ってほしい
- 友達との関わりや協調性を育ててほしい
- 学力や学習意欲を高めてほしい
- ルールを守る態度を育ててほしい
- 安全な環境を整えてほしい

「輝くこころ」を育てます

- 1 心の教育を充実させます
 - ・「よさや強み」を大切にした温かさとけじめのある指導
 - ・自己肯定感、自己有用感の育成
 - ・いじめや不登校が起きない学級集団づくり
 - ・学級活動、道徳科での話し合いの過程の重視
 - ・読書の楽しさを味わわせる活動の充実
- 2 豊かな体験活動を充実させます
 - ・滝ザクラと地域、特色ある校地等を生かした学習活動の推進
 - ・児童のアイディアを生かした社会性を育む縦割り活動
 - ・自然や芸術に触れる機会の充実
 - ・SDGs 17の目標やキャリア教育を意識した体験学習の整備
- 3 自主的活動を充実させます
 - ・児童会、学校行事、ボランティア活動等での児童の意識改革
- 4 基本的生活習慣を身に付けさせます
 - ・「気持ちよいあいさつ」の推進
 - ・ルールの意味を考え、自ら守ろうとする主体的な態度の育成
 - ・家庭と連携した指導の充実

<開かれた学校づくり>

- 1 情報の収集と情報発信をします
- 2 幼小中のより一層の連携強化を図ります
- 3 中郷地区交流館・中郷町づくり協会等の関係団体との連携・交流・相談を充実します
- 4 学校運営協議会を積極的に活用していきます
- 5 学校評価等の効果的な活用を行います

【目指す児童像】

「輝くこころ、輝くひとみ、輝くからだ」をもつ子ども

【重点・努力事項】

- (輝くこころ) 徳：互いを尊重し、自分の可能性を信じる子どもの育成
(輝くひとみ) 知：自ら考え、つながり合いながら学ぶ子どもの育成
(輝くからだ) 体：運動に親しみ心身ともに健康で元気な子どもの育成

「輝くひとみ」を育てます

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業をします
 - ・単元（題材）及び本時のねらいを明確にした授業（単式及び複式）づくりの実践
 - ・主体的・協働的に学ぶ場と時間の設定
 - ・分析結果に基づいた児童一人一人を大切にした授業づくり
 - ・授業づくりサポーターによる指導の効果的活用
 - ・研修制度の活用、現職教育の活性化による授業力の向上
- 2 読解力（活用力・言語力・表現力）を付けさせます
 - ・読解力向上のための場と時間の設定
 - ・教科書を正しく読めているか、読み解いているかなど、リーディングスキルを高める場の設定
 - ・個に応じた支援のより一層の充実
 - ・図書館教育との連携を図った学習の充実と読書の習慣化
- 3 基礎的・基本的事項を習得させます
 - ・習得・習熟の時間の確保と工夫
 - ・自主学習ノートを活用した家庭学習の充実
 - ・ドリルタイムの計画的・効果的活用

「輝くからだ」を育てます

- 1 保健・安全学習の充実に努めます
 - ・学校医、歯科衛生士による身体と歯の指導の充実
 - ・学校医、学校薬剤師、養護教諭、栄養教諭と連携した健康教育と食育の推進
 - ・発達段階に応じた性に関する保健指導
 - ・地震・災害・交通事故等から身を守る態度の育成
 - ・放射線教育の充実（環境創造センターとの連携）
- 2 体力の向上に努めます
 - ・体育の授業を中心とした計画的な体力作りの実践
 - ・運動会や水泳・マラソン・なわとび等における運動意欲の向上
- 3 教育相談の充実に努めます
 - ・すこやかアンケート、保護者アンケートの実施と活用
 - ・全教職員で全校児童の変化を見守る体制の充実

学びを支える環境を整えます

- 1 ALT、特別非常勤講師やSC・SSW・介助員等の専門家の活用
- 2 ICTアドバイザーの効果的活用及びICT環境の整備
- 3 施設・設備の安全管理
- 4 美しい掲示物、児童作品の掲示
- 5 安全確保・指導充実等のための学校ボランティアの積極的活用
- 6 校舎内外の教材・教具等の整理整頓

<家庭・地域との連携>

- 1 家庭との連携・協働を推進します
 - ・基本的な生活習慣
 - （早寝、早起き、朝ごはん、お手伝い、清潔、着脱衣等）
 - ・社会的な生活習慣（挨拶や言葉遣い、公共の場や用具を使うときの態度、安全のルールを守る等）としつけ
 - ・読書と家庭学習の習慣化
 - ・「なかさとキャッチフレーズ」の活用と定着確認
 - ・メディアと接する際の危険性の理解とルールづくり
- 2 安全・安心のため地域や関係団体との連携の強化を図ります

